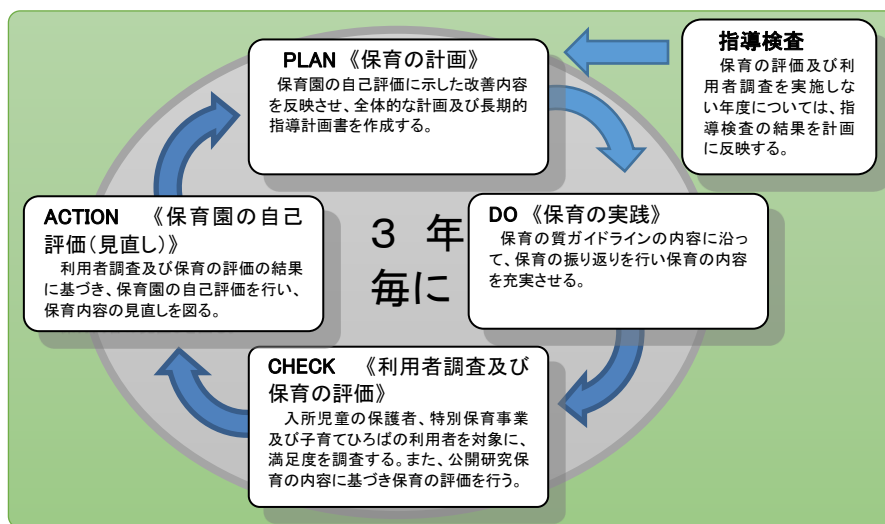


令和5年度
八王子市立保育園（公設公営園）
保育所の自己評価

国は、平成29年（2017年）3月31日に公示された新保育所保育指針の中で、「保育士等は、保育の計画や保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価することを通して、その専門性の向上や保育実践の改善に努めなければならない。」と明記しています。また、八王子市は、平成30年12月に、公立保育園が八王子市の保育における中核的な役割を果たしていくため、「八王子市（公設公営園）保育の質ガイドライン」を策定しました。

保育園が、保育施設としてその運営や保育内容等について保護者の皆様や地域の皆様に説明することは、保育所の重要な責務です。このことを踏まえ、公立保育園では保育の質の向上を図るために、利用者調査、公開研究保育とともに保育所の自己評価を実施しました。

今後は、評価の結果を踏まえ当該保育所において保育内容等の改善を図るとともに、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係がより強固なものとなるようにしてまいります。



評価責任者

八王子市子ども家庭部 子どもの教育・保育推進課

千人保育園 施設長 中田 直美

令和5年度（2023年度） 保育所の自己評価 評価結果

評価項目	評価結果	評価結果・具体的事例および改善方法
<p>保育の方針 1</p> <p>子どもが人格を形成していく上で、自己肯定感を持てるようにすることが大切である。職員は、子どものあるがままを受け止め、自分の意思を自由に表現できるように保育の中で援助していく。</p>	89%	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの個性を受け止めながら、保育園生活を安心して過ごせるように保育している。 ・一人ひとりの行動・考えを否定せずに受容し、自己肯定感が高まるように保育している。 ・職員によっては、言葉尻が強く感じられることもあるため、公開研究保育の結果を鑑みながら引き続き指導を行っている。
<p>保育の方針 2</p> <p>子どもが保育園生活をおくる上で必要なルールを知らせるとともに、人にはそれぞれ違いがあり、その違いを認め合うことを伝えていく。</p>	91%	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールについては、その子の思いを受け止めつつも、わかりやすい言葉を使って説明し、必要なルールがあり、守ることが大切であることを知らせている。 ・多国籍の保護者・子どもが多く、それぞれの文化を尊重しながら、子ども達にもそれを伝え、保育にあたっている。
<p>保育の方針 3</p> <p>人の成長には豊かな経験が必要であり、特に乳幼児期においてはそれが実体験でなくてはならない。人的・物的な環境を整え、自然に集団となつてあそぶ中で様々な体験ができるようにしていく。</p>	83%	<ul style="list-style-type: none"> ・自分は愛されているということが感じられるように愛情をそそぎ、あたたかい雰囲気の中で保育を行っている。 ・探求心を大切に、自然な流れで保育が展開していけるようにしている。
<p>食育</p> <p>食事は子どもの身体的成長の基本であり、心豊かに食を楽しみながら自然の恵みに感謝し、子どもの命を守る大切な事項である。年齢にあった調理方法や栄養のバランスはもとより、食習慣の確立・栄養教育・心の健康づくりという目的に応じて一人ひとりの子どもに配慮する。</p>	85%	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中、自分で食べようとし、就学前には食育活動を通してマナーも身に付けていく。 ・調理員と連携して食育活動を行い、食に興味を持てるようにしている。 ・アレルギー児対応には細心の注意を払ってきたが、誤食が起きてしまった。職員で検討して対応を改善した。
<p>子育て支援</p> <p>子どもの健やかな育ちを保障するため、家庭との連携を深めるとともに、在園児保護者及び在宅の子育て家庭における養育力が向上するよう援助していく。</p>	80%	<ul style="list-style-type: none"> ・在園児保護者には個人面談以外にも日々コミュニケーションを図り、支援を続けている。 ・在宅子育て家庭に関しては、連携ひろばを通して子育ての援助を行っている。
<p>職員の資質向上</p> <p>保育者に求められる専門性や倫理観を高めるため、保育の質の確保に向けた取り組みを組織的に行う。</p>	72%	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修に参加しているが、意欲に個人差を感じる。今後はより意識を持ち、学びを深めたい。 ・園内研修については、八王子市立保育園（公設公営園）「保育の質ガイドライン」及び「乳幼児すくすくてくてくガイドライン」を基本とし、実施日を決めて、とり組み充実を図る。
<p>安全管理と災害への備え</p> <p>日々、子どもたちの健康に留意するとともに、災害や事故に対する準備と心構えを持ち、それに係る訓練などを欠かさずに、子どもの安心・安全を守る。</p>	86%	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を毎月実施し、着実に身に付けてきた。 ・プール遊び開始前には、園内研修として救急救命研修を実施している。 ・日々、健康管理・環境衛生に努めている。